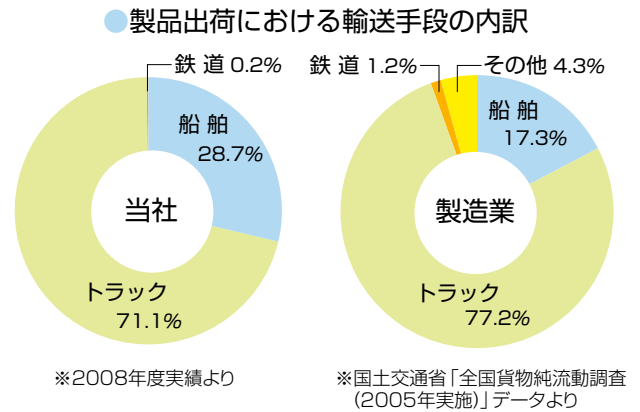


物流での取り組み

二酸化炭素(CO₂)削減に向けたグリーン物流の取り組みの柱として、モーダルシフトを積極的に推進しています。

モーダルシフトへの取り組み

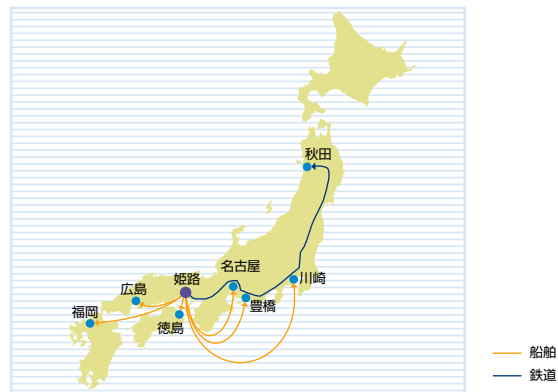
地球温暖化対策として、製造工程だけでなく物流面でのCO₂削減が課題となります。当社は、物流面のCO₂排出量抑制、エネルギー消費効率の向上等を目指して積極的にモーダルシフトを推進しています。具体的には、船舶輸送を拡大するとともに、鉄道コンテナ輸送の導入に取り組んでいます。



船舶輸送の拡大

当社では本社工場(兵庫県姫路市)から東京・名古屋・四国・広島・九州方面の各物流拠点倉庫への輸送に関し、船舶を利用しています。船舶輸送はトラックに比べCO₂排出量を大幅に削減できると言われ、その利用率の拡大を図ることは環境保護の点で大変重要です。

当社の全製品出荷量に占める船舶輸送比率は28.7%となっており、製造業平均を大きく上回っています。



トラック輸送を鉄道輸送へモーダルシフト

2008年11月、東北地区向けの特殊鋼鋼材のトラック輸送を、専用コンテナを導入して輸送鉄道にモーダルシフトしました。

姫路～秋田間の輸送をトラックから鉄道へモーダルシフトすることで、CO₂排出量を約85%削減することができます。今後は、北関東、北陸、九州地区へ拡大していく方針です。

この事業は「グリーン物流パートナーシップ普及事業」として、経済産業省・国土交通省により平成20年度の認定を受けています。



当社社名が表記された専用コンテナで運行するため、PR効果も期待できます。

*「グリーン物流パートナーシップ普及事業」
荷主企業と物流事業者のパートナーシップにより、実施される物流の改善方策を通じて、排出されるCO₂削減効果が明確に見込まれるものが対象です。